

## 再生可能エネルギーの導入を通じた 農山漁村の活性化と農林漁業振興への取り組み



わが国の農林漁業においては、地球温暖化の影響による天候不順、少子高齢化による担い手の慢性的な不足、魅力ある農林漁業実現に向けた高付加価値の特産品開発などさまざまな経営上の課題があり、農山漁村の活性化に向けた対応が必要となっています。

これらの対応にあたっては、天候や地域の気候に左右されない屋内施設や屋内環境管理、重労働軽減などの目的に応じた設備機器・システムの導入や効率的な運用が必要となります。また、これらの設備機器・システムの作動には電気や熱といったエネルギーが新たに必要になります。

また、農作物、森林の育成や生命の営みに太陽光やその熱が欠かせませんが、粉ひき作業の省力化のために水車が活用されるなど、古来より再生可能エネルギーが農林漁業に利用されてきました。現代では、技術進歩の結果、再生可能エネルギーを電気や熱に変えて利用することが可能になりました。

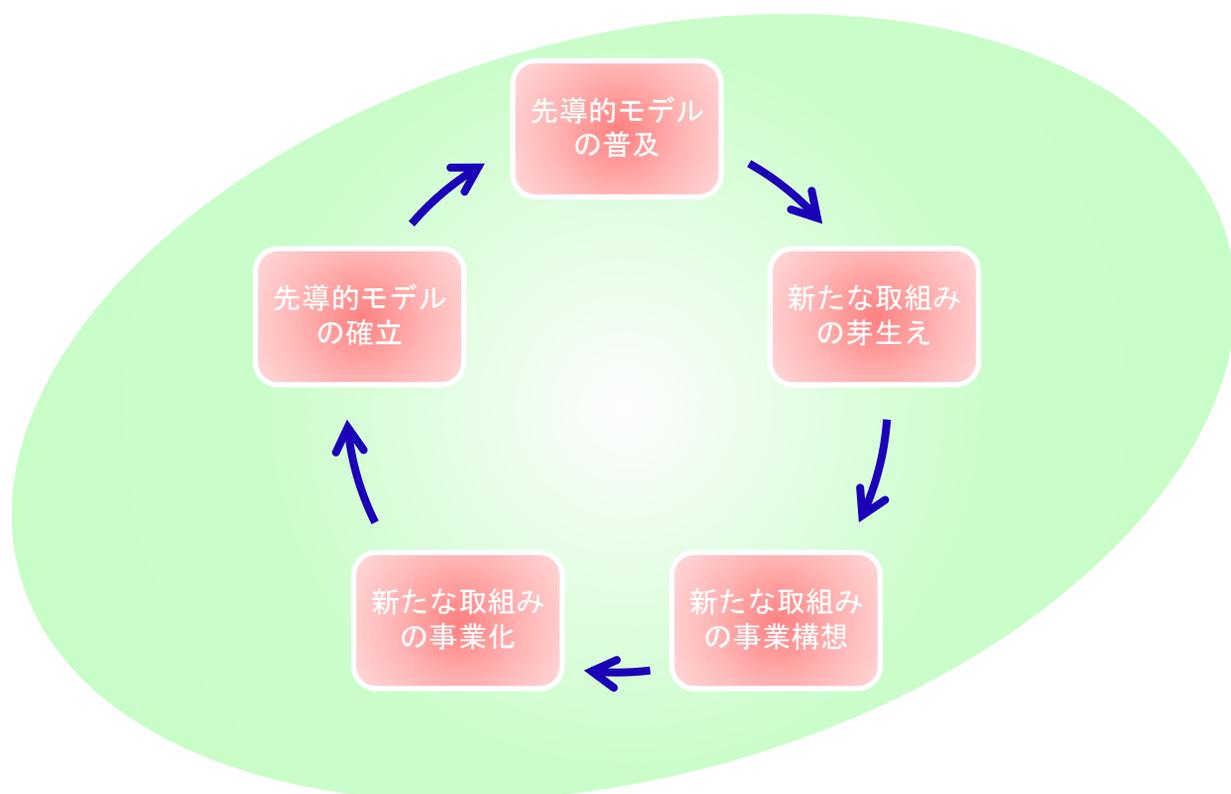
そこで、弊社は、以上の課題対応への新たなエネルギー源として、再生可能エネルギーを積極的にかつ効率的に活用するための支援を行っています。

ホームページ

[http://www.jmac.co.jp/column/industry/energy/energy\\_consulting\\_20170831.html](http://www.jmac.co.jp/column/industry/energy/energy_consulting_20170831.html)

以下の三つの点にこだわり、農林漁業における再生可能エネルギーの導入や有効利用の先導的モデルの確立と普及を推進してまいります。

1. 電気だけではなく熱も含めて、各農林漁業従事者のエネルギーの使い方に合わせた再生可能エネルギーの活用を検討する
2. 光熱費の削減等目の前の課題と、担い手確保や生産物の高付加価値化等中長期的な課題に分け、エネルギーの有効利用を通じた課題解決を目指す
3. 再生可能エネルギー、省エネルギーや地域で効率的にエネルギーを活用するスマートコミュニティ等の基礎的な知識、検討の考え方や導入のメリット等についてより多くの農林漁業事業者への普及を推進する



## 再生可能エネルギーの導入を通じた 農山漁村の活性化推進事業

農林水産省の平成30年度農山漁村6次産業化対策事業に係る持続可能な循環資源活用総合対策事業（循環資源活用支援事業のうち地域資源活用展開支援事業）の支援対象事業者として、弊社が採択を受けました。

現在、以下の活動を推進しております。

### 推進・情報提供支援（理解醸成活動）

- 再生可能エネルギーの活用方法に関する勉強会の各地開催・・・日本全国の先導的モデル調査結果をベースとした再生可能エネルギー活用の勉強会（スタディミーティング）を全国各地で行います。
- 地域課題検討ワークショップの開催（3箇所程度）・・・再生可能エネルギーの活用を行なうために、まずは地域課題を整理を行なうワークショップを行います。

### 計画策定支援（マッチング活動）

- 検討対象地域の募集・・・再生可能エネルギーの導入・利用により農林漁業の活性化を検討したい市町村や農林漁業者を募集し、対象地域における地域課題を明確にします。その後、解決したい地域課題や活用したいエネルギー源を展示会を通じて民間事業者に向けて発信します。
- 地域課題解決策の募集・検討・・・再生可能エネルギーを活用した地域課題の解決策を民間事業者から募集し、対象地域とのマッチングを行い、一緒に解決策を実行する為の計画立案を行います。

自治体や農林漁業者

解決したい地域課題、  
活用したいエネルギー源

民間企業

再生可能エネルギーを  
活用した地域課題解決策

展示会を通じて  
マッチング

再生可能エネルギーの事業化を推進

## ■推進・情報提供支援(理解醸成活動)

詳細日程が決まり次第、弊社ホームページにてご案内いたします。

1	先導的事例の調査 (2018年6月実施予定)	電気・熱の利用や未利用資源の活用等、総合的な地域循環資源利用の取組を先進的に行っている事例を調査し、農林漁業における導入・利用のメリットや導入する上でのポイントを弊社が整理します。(6地域程度)
2	理解醸成スタディミーティング (2018年8月～11月実施予定)	先導的事例調査結果を踏まえ、地域の農林漁業関係者や自治体を対象に、農林漁業における再生可能エネルギーの活用方法に関する理解醸成を促す為のスタディミーティングを行います。(全国10箇所)。
3	地域課題検討ワークショップ (2019年1月実施予定)	理解醸成スタディミーティング参画自治体や農林漁業関係者を対象に、地域課題整理のためのワークショップを行います(3箇所程度)。
4	活動報告会 (2019年3月実施予定)	本事業活動の報告会を実施し、活動内容を公に広く共有します。

## ■計画策定支援(マッチング活動)

年2サイクル実施致します。

	第1回	第2回
①モデル地区の募集	2018年5月 昨年の理解醸成活動参加者を主な対象として募集(3地区程度)	2018年7月 本活動を新たに知った地域・関係者も含め募集(3地区程度)
②地域課題の明確化	2018年6月 モデル地区における地域課題並びに活用する再生可能エネルギーの明確化	2018年8月 モデル地区における地域課題並びに活用する再生可能エネルギーの明確化
③地域課題解決策の募集	2018年7月 展示会(東京)・セミナー(大阪・福岡)にて情報発信し、民間事業者から提案の募集を開始	2018年9月～11月 展示会(関東・関西・九州)にて情報発信し、民間事業者から提案の募集を開始
④地域課題解決策の検討	2018年9月～12月 提案内容を審査しモデル地区と民間事業者をマッチングし、今後の活動の方向性を検討する	2018年11月～2019年3月 提案内容を審査しモデル地区と民間事業者をマッチングし、今後の活動の方向性を検討する

※上記予定は、2018年5月15日現在のものです。予告なく変更になる場合がございます。最新の情報は本紙記載の連絡先までお問い合わせください。



## 本資料に関するお問い合わせ先

株式会社日本能率協会コンサルティング

農エネプロジェクト 野田、江原

〒105-0011

東京都港区芝公園3-1-22 日本能率協会ビル7F

TEL:080-3258-0696 FAX:03-4531-4318

E-mail: [energy\\_jmac@jmac.co.jp](mailto:energy_jmac@jmac.co.jp)

※本資料は以下の利用条件を十分ご確認の上ご利用ください。

1. 本資料に関する著作権、商標権、意匠権等を含む一切の知的財産権は、株式会社日本能率協会コンサルティングに帰属しています。
2. 株式会社日本能率協会コンサルティングの事前の書面による承諾を受けた場合をのぞき、本資料の一部又は全部を複製、転載、転用、翻案することは禁止されています。